

育児休業に関する体験記6

20代 30日間取得

①家事・育児について

1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか

授乳以外の育児は夫婦で協力して行おうと話していた。特別な分担は決めていなかったが、お互いの家事・育児のスキル格差が偏らないようにしていた。

2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について

育児休業中に比べ日中の関わる時間は減るため、その分帰宅してからの時間や休日などは積極的に子どもと関わるように心掛けていました。

(妻 記載欄)休業取得者の家事・育児の参画の状況について

授乳以外のことについては夫にも協力してもらいました。私が体調不良になった時や外出で不在の時もありましたが色々と夫に任せることが出来たので、今回育児休業を取得してもらって体力的にも精神的にもとても助かりました。

②仕事について

1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか

申し送り、休業中の勤務体制の検討・確立、必要書類の事前作成。

2. 評価・反省

スタッフ減員になる分、他スタッフへ協力していただくことや負担はどうしても出てきましたが臨機応変に対応していただき、大きな問題なく終了できたと思います。

③自由記述

第一に産後妻の身体的、精神的負担軽減、サポートが出来るように、かつ子育てに「参加」ではなく、積極的に子育てをしたい、成長著しい子どもの今しかない時期をともに過ごしたいという気持ちから育児休業の取得を決めました。また、今後育児休業取得を検討している他の男性従業員も積極的に育児休業の取得が出来る雰囲気、流れを作れればと思い取得しました。

職場上司には育児休業取得の約半年前に取得の意向を相談しましたが、親身に相談に乗ってもらい、快く育児休業の取得を許可していただきました。直近、同部署内で同じく男性の育児休業取得の事例があったことも今回自分が育児休業取得に踏み切りやすかった要因の1つでもありました。

初めての育児で日々試行錯誤ですが、今回育児休業を取得したことで妻や子どもと過ごす時間も多く取れ、また数多くの育児場面にも関わる事が出来たため自分自身の育児への不安も少し軽減したかなと感じました。夫婦で育児していく中で喜びや楽しさ、大変さを共有することができ、日々成長する子どもの姿も間近で感じられ、とても有意義な期間になりました。育児休業を取得して良かったと感じました。